

いきいき美浦に人咲く 夢咲く 福祉咲く



美浦村

2012.10.3

Vol.

55

しゃきようだより



赤い羽根共同募金 ご協力お願いいたします

主な内容

特集：祝・喜寿 人生七十七年を振り返る

- 「自分のまちを良くするしくみ」 赤い羽根共同募金について
- ボランティアの㊦！
- 介護事業所かわら版
- 男の料理教室
- いきいき親子ハイキング
- 大切にします！あなたの善意
- 各種お知らせ



美浦村しゃきようだよりの発行は赤い羽根共同募金の配分金事業で行われています。



喜寿対象者の77年を振り返る



年号	年齢	できごと	美浦村では
昭和11年	1	二・二六事件	霞ヶ浦に源五郎鮎放流
昭和16年	6	太平洋戦争始まる	木原・大谷・八井田 国民学校の誕生
昭和20年	10	広島・長崎に原爆 ポツダム宣言受諾	舟子地区 B29 爆撃により罹災
昭和23年	13	美空ひばりデビュー	安中線国鉄バス開通
昭和28年	18	テレビ放送開始	町村合併研究会設立
昭和30年	20	クレージーキャッツ誕生	3村合併で美浦村誕生
昭和34年	24	安保闘争おこる	常磐線土浦まで電化
昭和39年	29	東京オリンピック開催	五輪聖火、美浦村を通過
昭和45年	35	大阪万博開催	役場消防隊発足
昭和49年	39	巨人軍長嶋茂雄引退	役場現庁舎完成
昭和53年	43	成田国際空港開港	美浦トレーニングセンター開場
昭和57年	47	500円硬貨発行	中央公民館建設開始
昭和60年	50	つくば科学万博開催	第1回村民マラソン大会開催
平成元年	54	消費税3%始まる	JRA 美浦特別レース開設
平成3年	56	湾岸戦争勃発	美浦村ボラ連協発足
平成5年	58	サッカー「ドーハの悲劇」	光と風の丘公園一部共用開始
平成7年	60	阪神大震災・オウム事件	第1回陸平縄文ムラ祭り開催
平成13年	66	9.11 米同時多発テロ事件	木原小学校増築工事完成
平成17年	70	愛知万博(愛・地球博)開催	美浦村誕生50周年
平成23年	76	東日本大震災	福島県被災者の受入先に、光と風の丘公園ロッジ4棟を提供
平成24年	77	東京スカイツリー完成	美浦村定住促進条例を施行

年齢は昭和10年生まれ(今年77歳)で計算

元号	年代	文化・生活・流行
昭和	10~	漫画「のらくろ」・エノケン・配給切符・学童疎開
	20~	紙芝居「黄金バット」・街頭テレビ・力道山・ゴジラ
	30~	家電三種の神器・即席麺・フラフープ・御三家・週刊誌
	40~	マイカーブーム・カラーテレビ・リカちゃん人形・パンダ
	50~	石油ショック・ビデオデッキ・ラジカセ・カラオケ
	60~	ワープロ・使い捨てカメラ・CD・テレホンカード・新人類
平成	元~	ウインドウズ95・インターネット・ポケベル・プリクラ
	10~	DVD・Suica・二千円札・カメラ付き携帯電話
	現在	スマートフォン・エコカー・薄型液晶テレビ・ネット動画

参考資料：美浦村誌／2010美浦村資料集／広報みほ

祝・喜寿

人生七十七年を振り返る

今年度、村内で七十七歳の喜寿を迎えられる方は176名と、過去十年で最も多い人数になる。戦争を経験し、戦後の日本復興の原動力となった、昭和10年生まれの人たちは、どのような人生を歩んできたのだろうか





77歳敬老インタビュー

誇れるふるさと「みほ」に感謝



飯塚 往雄 氏
昭和11年3月生まれ
小学校教員を約40年
務め、現在は民生委
員として活躍中。

— 幼少期のお話をきかせて下さい

私は木原村信太の農家の生まれで5人兄弟の末っ子でした。一番年下でも甘やかされることなく、親兄弟に厳しく育てられました。小学校入学時には既に太平洋戦争が始まっており、朝は兵隊送りをしてから大谷小学校に通い、夜は明かりがもれて敵の戦闘機に見つからぬよう気を付けていました。当時は世の中が戦争一色で、大人になったら当然兵役に出るものだと思います。

— その戦争も小学4年生の時に終わりを迎え、復興へと進んでいきます

学校を卒業後、小学校の教員になりました。木原村が安中村、舟島村の一部と合併して美浦村になった昭和30年代には木原小学校で教えていましたが、当時は土屋

に分校がありました。分校の児童は5年生になると自転車で木原小学校まで通っていたのですが、子どもにはとても長い道のりを、雨の日も風の日も、休むことなく元気にやってくる姿には感心しました。その教え子たちはもう60歳を超えています。身体も心も鍛えられたおかげでしょうか、皆、立派な人物になっていますよ。

— 20歳の時に美浦村が誕生し、共に歩んできたわけですが、当時と現在を比べてみていかがですか？

大きく変わった点の一つは、霞ヶ浦の堤防です。若い方は知らないかもしれませんが、昔の霞ヶ浦は台風や大雨が来る度に洪水を起こし、米の収穫がゼロになることも珍しくありませんでした。そのため、稲を守るために多くの人が立ちが尽力されたおかげで、今では立派な堤防が出来、多くの美味しいお米が収穫できるようになりました。

もう一つは、ご存じJRA美浦トレーニングセンターの開場です。稲作が中心で特に産業の無かった美浦村を、より発展させたいと願う人々の熱意と努力がなければ、山を切り開いて施設を作り、五千人を越す人々と二千頭を超える競走馬が移住してくるという、この壮大な計画は実現しなかったかと思っています。また、村の税収

が上がって、財政面が豊かになると、より良いまちづくりが行われたと思います。

— 今の美浦村があるのは、多くの人たちに支えられたおかげなので

もちろんこれ以外にも、土地改良や干拓など、村の発展に尽くされた方々の偉業のおかげで、美浦村は規模が小さくても県下に誇れる村だと思っています。私は村民の一人として、この喜びと共に、偉大なる先人たちへ大きな感謝の念を抱いています。

— 今年喜寿を迎えますが、人生の先輩として、若者達へメッセージを

不言実行。良いと思うことは、実行して初めて意義がある。口で言うなら誰でも出来る。面倒がらずにやってみる。欲張って「あれもこれも」では続かない。一歩ずつ踏み出すのが継続のコツ。
心の灯火を消さないで。いつも心が燃えていれば、必ず良い人生を送れます。

3時間を超えるインタビューを終え、印象に残ったのは氏の謙虚さ。戦中・戦後の大変な時代を乗り越えて来たにもかかわらず、自分の苦労は一切語らず、今の美浦村を作った先人の偉大さと感謝の



社協が主催する敬老事業

敬老会	75歳以上対象。中央公民館にて式典。村共催
喜寿お祝い会	77歳対象。福祉センターにて式典。記念品等贈呈
最高齢者祝い	在宅で過ごす村内最高齢者男女各1名に御祝い金贈呈
金婚祝	結婚50周年を迎えるご夫婦対象。会長お祝い訪問&記念品等贈呈

上記事業は赤い羽根共同募金配分金で行われています。

念について、熱く語っておられました。思えばこの世代の方々、自己より他者を優先し、思いやり・謙虚さを美徳として、慎ましく生きてこられた方が多いような気がします。
皆さんも、このインタビューのように、身近にいる人生の大先輩に、当時の思い出話を聞いてみてはいかがでしょう？温故知新。人生において、何か新しい発見があるかもしれませんよ。



赤い羽根
共同募金
10月1日～12月31日

「自分のまちを
良くするしくみ」

期間 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金

今年も10月1日から赤い羽根でおなじみの共同募金が始まります。美浦村では4,654,000円を目金額に募金運動に取り組みます。様々な機会でご案内しておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

募金の8割が美浦村の福祉に使われます

共同募金に寄せられた寄付金は、皆さまの身近な地域で子どもや高齢者・障害者などのため、さまざまな福祉活動に大きな役割を果たしています。

昨年度、皆様から寄せられました赤い羽根・歳末募金の合計額のうち、約85%が社会福祉協議会をとおして、村内の福祉事業に使われています。

共同募金配分金事業

○配食サービス(約72万円)

ひとり暮らし高齢者の健康増進と安否確認を目的として、民生委員やボランティア、福祉団体等のご協力を得て、月2回(年24回)夕食用の弁当を配達しています。

○福祉交流活動(約25万円)

親・子・孫が輪投げを通してお互いに交流することを目的とした「三世代ふれあい輪投げ大会」、保育所児と老人クラブ会員がレクリエーションをとおし、世代間のふれあいを深める「保育所児と高齢者のふれあい交流会」、山登りを通して親子の絆を深める「いきいき親子ハイキング」を実施しました。



保育所児と高齢者の運動会

○高齢者祝賀(約97万円)

永年にわたり社会に貢献された高齢者の長寿等を祝福し、福祉の増進を図ることを目的として、敬老会、金婚祝、健やか最高齢者祝、喜寿祝を実施しました。

○ボランティア支援(約17万円)

ボランティアセンターにおける情報の収集と発信、ボランティアコーデイネーター業務、広報誌の発行を行いました。

○社協だより発行(約66万円)

当会のお知らせやご案内を掲載した当広報誌を年4回、村内の約5千世帯にお届けしました。

○ホームページ運営(約12万円)

社協の事業・活動や今後の催し物を、皆様に早く・わかりやすくお伝えできるよう、ホームページを運営しています。

歳末たすけあい事業

年の暮れに支援を必要とされる方や、1人暮らしの高齢者等が、明るくお正月を迎えるために支援する事業です。



○「猫の手貸します」シルバー人材センター利用券贈呈(約7万円)

年末の大掃除等が困難な世帯を支援するため、掃除や障子の張り替え等を行っているシルバー人材センターの利用券を進呈しました。

○「サンタが美浦にやってくる」クリスマスプレゼント贈呈(約10万円)

支援が必要な母子・父子家庭世帯の幼児・児童・生徒29人に対し、サンタクロースが自宅を訪問し、お菓子入りブーツをプレゼントしました。

○歳末餅つき大会(約13万円)

高齢者と児童との交流を目的として、児童館と協力してメンコやお手玉などの昔の遊びや餅つき体験を行いました。

○歳末たすけあい支援(約65万円)

支援を必要とする世帯が温かな年末年始を迎えられることを目的として、商工会発行のクーポン券の進呈を行いました。

○歳末地域福祉活動助成(約10万円)

支援を必要とする人たちが地域の中で安心して暮らすことが出来るよう、たすけあい支え合いなどを目的とした事業を行う団体に活動費の助成を行いました。

※事業報告は昨年度のものです。



美浦ボランティアのわ!

美浦村のボランティアを紹介するコーナー

美浦村敬老会でボランティア大活躍!!

9月17日(敬老の日)、75歳以上の方の長寿をお祝いし、村中央公民館で美浦村敬老会(美浦村と共催)を開催しました。

当日は、美浦中学校生徒14名と村ボランティア連絡協議会会員7名が会場準備や敬老者への座席案内などを行い、村シルバーリハビリ体操指導士会指導士16名が介護予防を目的とした体操を行いました。敬老会が大成功に終わったのは、これらのボランティア活動があったからこそ。支えていただいた皆様に、心から感謝の意を表します。



美駒ボランティアが『防災講演会』を開催しました

8月30日、美駒トレセン厚生会館分館にて県社協 篠原義典部長を講師にお招きして、災害への備えや災害から身を守るための10カ条などのお話をいただきました。

当日は107名が出席し会場は満席状態、防災に対する意識の高さがうかがえました。



『傾聴ボランティア養成講座』を開催しました



よ〜く聴いて
もらおうと
ほっとする。

傾聴ボランティアとは、相手の話を否定せず、ありのままを受け止めて聴くお話相手ボランティアです。

講師の茨城カウンセリングセンターの塚本・小沼カウンセラーからは、「大事なのは、相手の心にいかに寄り添うかです」と、心の声を聴く大切さを学びました。



介護事業所 かわら版 Vol. 10

ひまわりの種からつながるもの

この夏、デイサービスセンターの花壇は、ひまわり一色でした。5月に種をまくと、猛暑にも負けずに背丈は1mを超えるほどすくすく育ち、7月には見事な大輪の花たちが「おはようございます」と、来所されるご利用者を出迎えてくれました。9月になると、2ヶ月にわたって楽しませてくれた花も枯れてしまいましたが、代わりにたくさんの種を残してくれましたので、ご利用者と一緒に種取りを行いました。「昔は物がなかったから、油は貴重品だった。だから自分たちで、ひまわりやゴマ、菜種から油を取っていたんだよ。」と、懐かしそうに当時の思い出を語っておられました。

その種のお大半は、福島県で行われている、「つながり∞ふくしま (UF787 プロジェクト)」へ送りました。これは、ひまわりの種から取れた油をドレッシングやアロマオイルに加工

することで、障害者の雇用促進を図るものです。美浦の地から福島の大池へ。小さいひまわりの種が、大きな想いをつなげてくれることを願っています。



受講者
募集

男の料理教室

包丁をにぎったことがなくてもOK！年齢も問いません。男性のみなさん、料理を通して地域での生きがい・仲間づくりしましょう！

開催日程 11月～3月 (全5回)
10:00～13:00

定員 16名 (先着順)
内容 旬の素材を生かした料理の作成
参加費 1人3,000円(全5回の食材費)
場所 美浦村保健センター調理室
申込方法 10月31日(月)までに社会福祉協議会へご連絡ください



いき
いき

親子ハイキング

参加者
募集

筑波山登山を通じて、親子の交流を深め、体験活動の楽しさを感じてみませんか？

開催日 11月11日(日)
対象者 村内に居住する小1～6年生の親子
※親の代わりに祖父母や兄弟(成人)でも可
人数 30人(先着順)
内容 紅葉の筑波山でハイキング
費用 1人 500円(保険料・交通費)
申込 申込用紙を社協まで持参して下さい



大切にします！あなたの善意

- ◇東日本大震災義援金
木原小学校 中央委員会……36,114 円
 - ◇善意銀行へ
美浦村民ゴルフ大会ワンオン募金……10,700 円
日野輝恵……3,960 円
地域サポートクラブ ふきのとう(代表 門脇 艶子) ……10,000 円
匿名……2,287 円
 - ◇やまゆり基金へ 匿名……100,000 円
 - ◇車椅子 千葉県ヤクルト販売(株)
 - ◇デジタルカメラ(地域活動支援センターホープへ)
地域サポートクラブ ふきのとう(代表 門脇 艶子)
 - ◇古切手など
フィールドパック(株) / 福田伸子
日野輝恵 / 五十嵐段ボール(株) / 匿名(6件)
 - ◇使用済みプリペイドカード 石川弘
 - ◇介護用品 戸ノ岡あさ子 / (株) ロングライフ
 - ◇ティッシュ、タオル等 美浦郵便局 / 匿名
- ※敬称略 <平成 24 年 6 月 20 日～平成 24 年 9 月 19 日受付分>



千葉県ヤクルト販売株式会社様から



地域サポートクラブふきのとう様から

美浦村社会福祉協議会では、寄付金の他、古切手や使用済みテレフォンカード、書き損じ葉書を受け付けています。

社協の相談事業 《無料・要予約》

会場：老人福祉センター ◎予約受付 TEL：885-7080 担当：増尾

時	予	相	予	相	予	相	10
間	約	談	約	談	約	談	月
午後3時30分	開始	日	開始	日	開始	日	10
	…	…	…	…	…	…	月
	12月5日(水)	12月19日(水)	11月7日(水)	11月21日(水)	10月3日(水)	10月17日(水)	17
							日

弁護士による法律相談

時	相	心
間	談	配
午後1時～3時	日	ご
	毎週月曜日	と
	(祝祭日・年末年始を除く)	相
		談
		所

◆配食サービスのご案内

70歳以上の独居高齢者で見守りが必要とされる方に、食生活の支援と安否確認を目的として、ボランティアの方による手作りのお弁当を民生委員やボランティアが月2回お届けします。

【お問い合わせ】

TEL:885-7080 (担当 増尾)
※この事業は赤い羽根共同募金配分金で行われています。

編集後記

私には83歳になる祖母がいるのだが、先日、実家に帰省したとき、こんな話を聞かせてくれた。祖母は半年ほど前に車の免許を返上し、買い物や用事がある時は、徒歩やバスを利用するようになったとのこと。今まで車で自由に行き来していたわけだから、何かと不便なことはないのか尋ねると、「歩くことで運動になるし、バスの路線を調べて行くと、今まで知らなかったことがわかる。何より、バス停で一緒になった人が話が弾んで、野菜をもらったこともあるんだよ。」と楽しそうに話していた。先日、敬老会で招待される側だが、大トリで踊りを披露したとのこと。いつまでも元気でいて欲しいものである。(N)

社会福祉法人美浦村社会福祉協議会・美浦村デイサービスセンター

〒300-0424 茨城県稲敷郡美浦村受領 1546-1
TEL:029-885-0038 (社会福祉協議会事務局)
029-885-8885 (美浦村デイサービスセンター)
FAX:029-840-4552 ホームページ <http://www.mihoshakyo.jp>

美浦村老人福祉センター・ボランティアセンター・美浦村地域活動支援センター「ホープ」

〒300-0421 茨城県稲敷郡美浦村木原 150-2
TEL:029-885-7080 FAX:029-885-1042

支えあうココロ、未来へ。

クリアファイルプレゼント

美浦社協事務所内（役場裏）にて
500円以上寄付をして頂くと、赤
い羽根のかわりに「初音ミク クリ
アファイル」を1枚差し上げます。
※なくなり次第終了

ピパロ  赤い羽根共同募金

初音ミク
HATSUNE MIKU

イラスト：U35
© Crypton Future Media, Inc. www.crypton.net

赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日 www.akaihane.or.jp

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願ひいたします。

